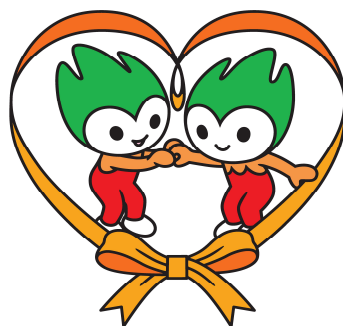




令和2年度認知症セミナー

オレンジパワー活用セミナーについて ～認知症本人のメッセージとともに～



山口県PR本部長「ちよるる」
認知症施策【支え合いリボン】

山口県健康福祉部

長寿社会課地域包括ケア推進班

保健師 橋本 佳子

山口県の概況

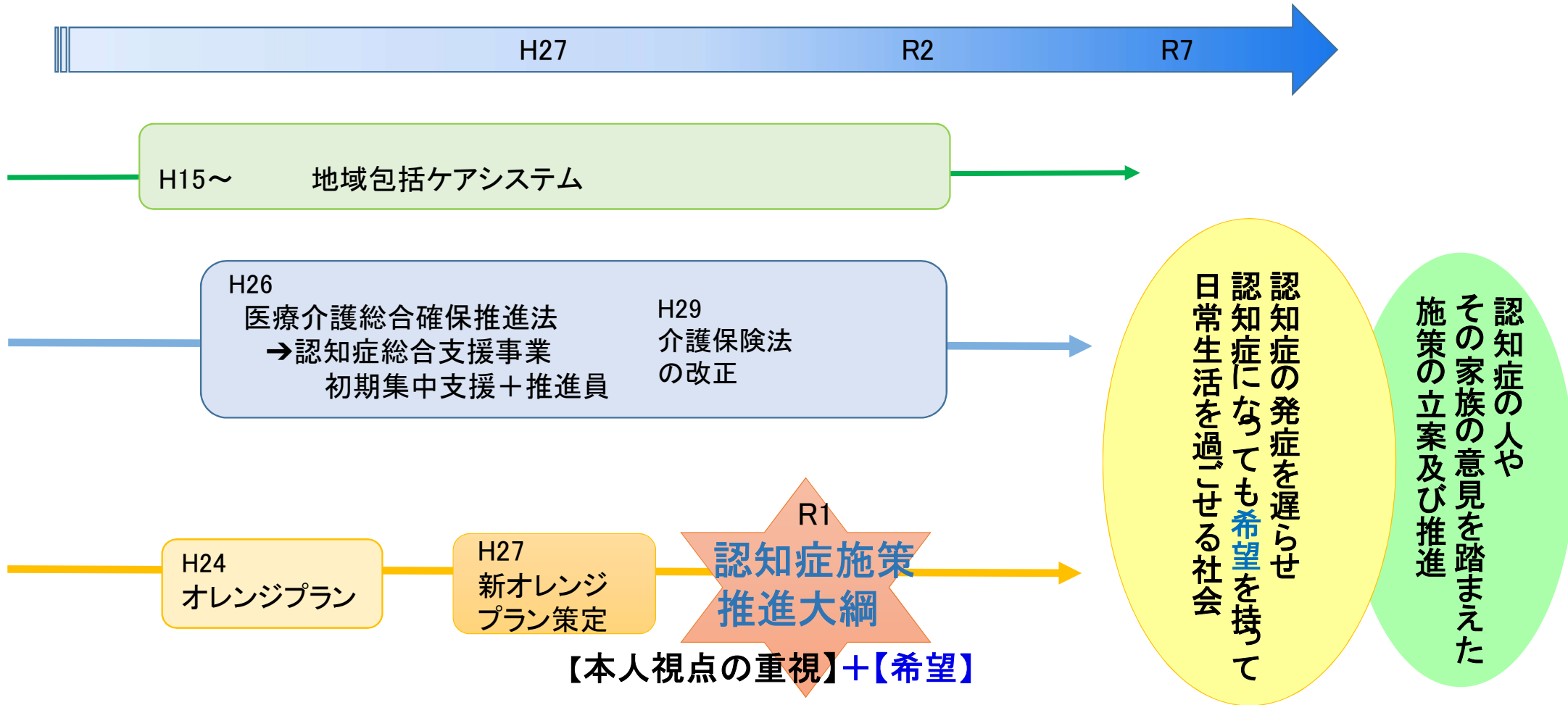


推計人口：1,358,336人（全国27位）
高齢化率：34.3%（全国3位）
（令和元年10月1日時点）
県内市町数：19市町
地域包括支援センター：60カ所
認知症地域支援推進員：99名
認知症カフェ：106カ所
（令和2年3月31日時点）

中国・四国地方全図



国の認知症関連施策



山口県の認知症施策

◆ 「第六次やまぐち高齢者プラン」 (H30.3策定)



認知症に関する理解促進

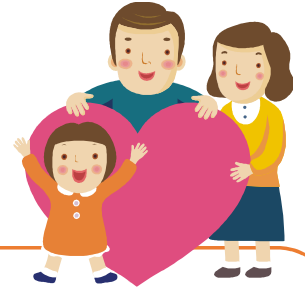
- 啓発活動の実施(9月)
- キャラバン・メイト・認知症サポーターの養成

容態に応じた施策の推進

- 早期の発見・診断・対応
 - ・認知症サポート医の養成
 - ・かかりつけ医・薬剤師・歯科医師向け研修の開催
 - ・認知症初期集中支援チームの支援
- 認知症の初期から後期までの各段階に応じた適切なケア
- サービス提供体制の充実・強化
 - ・認知症疾患医療センターによる早期診断等の環境整備
- 地域の実情に応じた医療・介護サービスの円滑な連携の推進

山口県の認知症施策

◆ 「第六次やまぐち高齢者プラン」 (H30.3策定)



若年性認知症の人に対する支援

- 早期発見・診断及び相談体制の整備
 - ・若年性認知症支援コーディネーターの配置
- 関係機関の連携による支援体制の充実
- 本人の居場所づくり
 - ・若年性認知症の人のための認知症カフェ

本人・家族への支援と地域づくり

- 認知症の人と家族を支える地域づくり
 - ・認知症コールセンターの運営
 - ・認知症地域支援推進員の活動支援
- 地域の実情に応じた見守り体制づくりの促進

オレンジパワー活用セミナーの誕生まで

認知症の人やその家族の意見を踏まえた施策の立案及び推進・本人発信支援…できたら、本人にも市町にもきっと、いいよね！！

これまでも、認知症の人やその家族の気持ちになって、企画してたけど……

直接、本人に聞く？

どんな方法で？どんな風に？

認知症の人はどこにいるの？

市町は、できているの？

県のすべきことは？

市町にとって、
何が必要？
市町に直接、
聴いてみよう！



【市町からの情報】

- 本人への支援の調査
：18/19市町で個別支援が主
- 忙しくて、仕事は増やせない
- 最新の情報を得る機会がない

【県として考えたこと】

- ◆ これまでの人材育成で、知識のある人材は地域にいる
- ◆ 地域の同職種・同職場内で、120%頑張っている
- ◆ 認知症の疾患特性上、サポーターは必要
- ◆ 県の長所：広域に対応

- ★現場に負担なく導入
- ★仲間づくり
- ★発見や学びの共有

オレンジパワー活用セミナー



認知症施策【リボン&ハート】

企画にあたり考えたこと

オレンジパワー活用セミナー

➤忙しい中で、職場で考える時間を確保するのは大変！

その場で考えて、現場に帰ってそのまま活かせる内容のセミナーにしたら…

- ➔ ✨ 毎回、段階的なグループワークを実施
- ➔ ✨ 参加者は少ないかもしれないけど、複数回コースで…3回

➤1人では難しいことも、仲間がいれば続けられる力になるかも！？

- ➔ ✨ 2人1組で…

できれば、違う職場、職種だったら、新たな出会いになる

➤学んで終わりではなくて、得られたスキルや情報を共有できたら

- ➔ ✨ 3回目は活動を紹介しあって、工夫点などを共有



1 目的

認知症施策に携わる誰もが、認知症の人の視点に立ち、
認知症の人やその家族の意見を踏まえて施策を推進する

具体的目標

- 本人視点を活かした施策の重要性や手法を学ぶ
- 現在の業務の中で、本人視点を得られる機会を発見する
- 仲間がいることに気づく
- 学びや発見を共有することで、効率よく展開する



2 対象

オレンジパワー活用セミナー

ともに活動できるパートナーと2人1組 ※原則3回参加

例えば…

市町認知症施策担当者
&
認知症地域支援推進員

認知症疾患医療センター相談員
&
認知症の本人

認知症地域支援推進員
&
認知症カフェ関係者

市町認知症施策担当者
&
隣市町の認知症施策担当者

認知症地域支援推進員
&
認知症介護指導者

3 申込状況

18組 (36人)

認知症施策における役割	職 種		認知症施策における役割	職 種	数
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	認知症地域支援推進員	(作業療法士等)	8組
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	家族会会員		2組
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	認知症キャラバン・メイト	(介護福祉士)	1組
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	保健所認知症施策担当者	(保健師)	1組
認知症地域支援推進員	(看護師)	×	施設職員	(介護福祉士)	1組
認知症地域支援推進員	(作業療法士)	×	認知症介護指導者	(社会福祉士)	1組
認知症疾患医療センター相談員	(公認心理師)	×	若年性認知症支援コーディネーター	(精神保健福祉士)	1組
認知症疾患医療センター相談員	(精神保健福祉士)	×	保健所認知症施策行政担当者	(保健師)	1組
認知症疾患医療センター相談員	(精神保健福祉士)	×	認知症疾患医療センター相談員	(社会福祉士)	1組
保健所認知症施策担当者	(保健師)	×	隣の保健所認知症施策担当者	(保健師)	1組

4 内容：全体

オレンジパワー活用セミナー

回	日 時	内 容	グループワーク テーマ
第1回	R1.5.24 (金) 13:30～ 16:00	○認知症の 本人の視点 に立った施策について学ぼう 講演「 本人の声を活かした 小さな改善や取組を実践しよう」 講師：認知症介護研究・研修東京センター 永田 久美子 副センター長	① パートナー の強みや素晴らしいところ ② 自分 の強みや自慢できるところ ③講義を聴いて、今後 大切にしたい と思った点 ④今後、 やってみたい と思ったこと
第2回	R1.7.11 (木) 13:30～ 15:45	○本人の 実際の声 を聴いてみよう ～小さな改善や取組の連鎖を作り出そう～ ①若年性認知症の人からのメッセージ ②若年性認知症の家族からのメッセージ ③若年性認知症の人の就労先の上司からのメッセージ	①今後の活動で、 大切にしよう と思ったこと ②やってみたいことを 具体的に 考えてみましょう 目指す姿・いつ・どこで・誰と・どのように・・・
第3回	R2.1.15 (水) 13:30～ 16:00	○実践からの気づきを 共有 しよう 実践した活動についての紹介等	

4 内容：第3回

オレンジパワー活用セミナー

➤ 18の活動紹介シートを綴った「活動紹介集」を作成

➡ 山口県長寿社会課のホームページに掲載



➤ 各活動について、認知症の人からのメッセージを加筆して応援

➤ 4組のペアから、活動についての紹介



4 内容：第3回 活動紹介①

オレンジパワー活用セミナー

【「Happy Club」(本人ミーティング)】(美祢市行政担当&推進員)

ハッピー クラブ Happy Club

仲間と一緒に、やりたいことをチャレンジ!!
スポーツ、ウォーキング、料理、おしゃべり...などなど
活動内容は、参加者の皆さんと一緒に考えていきます
これからの、よりよい日々の為に
心と体の元気を維持していきましょう(見学からOK)

毎月第1金曜日

10:00 ~ 12:00

場所：美祢市勤労青少年ホーム
(美祢市大嶺町東分 285 番地 1)



※活動内容により日時の変更がある場合がございますのでご了承ください。

おまちしています

お問合せ
美祢市地域包括支援センター
(高齢福祉課 15 番窓口)
☎ 0837-54-0138

やってみて、よかったこと
(結果や学び)

まだ思いを語る場にはなっていませんが、一緒に身体を動かし、笑い合える場になっていると感じています。サービス利用に至らない空白の期間の方が利用できる事業として、形になったことは良かったと思います。

認知症の人からのメッセージ

- ・いい取り組み
- ・ネーミングに認知症が入っていないのがいい
- ・認知症という言葉に抵抗がある人もいると思う
- ・近くの方が参加しやすい
- ・同じ病気の仲間だと安心

4 内容：第3回 活動紹介②

オレンジパワー活用セミナー

【出張形式による認知症カフェ】（周南市行政担当&キャラバン・メイト）

やってみて、よかったこと
（結果や学び）

関わったメンバーからも「今後、同じような取り組みが他事業所でも試みてもらえたら良いのでは」との意見もあり、認知症カフェの“運営をどうするか”ではなく“本人とその家族のためにどうするか”を再認識するきっかけとなった。本人や家族の楽しそうな様子も伺えたため、関わったメンバー全員の小さな成功体験になったと感じる。

認知症の人からのメッセージ



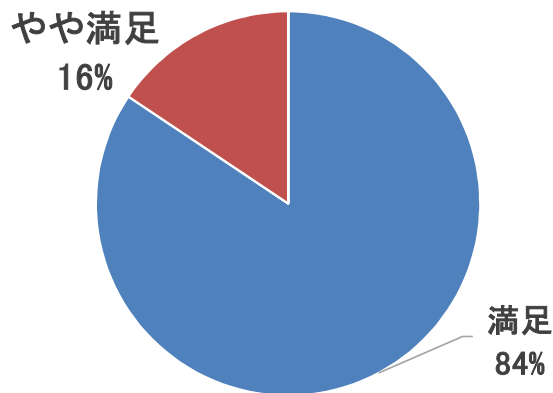
- ・嬉しいサービス
- ・発想がいい！
- ・いいですね！ホームパーティみたい
- ・認知症のことを理解している、説明できる人が訪問してくれることの効果は大きい
- ・特別なこととしないで、どんどんやってほしい

5 評価：アンケート集計

オレンジパワー活用セミナー

【全3回を通じての満足度】

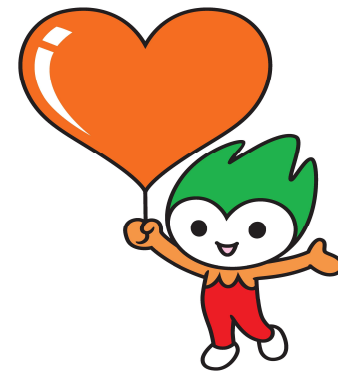
回収率100%



【自由記載から】

- 知識を得ることとともに、仕事への熱意や意欲もかきたてられるととても力をいただくセミナーでした。
- 今後もこの講座を続けて欲しい。今回の受講者も参加させて欲しい。
- 事業を「継続」する、やろうという気持ちを「持ち続ける」ことが一番大切。色々な立場の人でアイデアを出し合い、助け合える関係を構築できる場としてセミナーの企画よかったですと思います。
- 当事者の方の声を大切にしていきたいと思った。
- 活動紹介に対して各機関毎に認知症の人からのメッセージはとても心に届くものとなりました。

ここで、
セミナー2回目の一部を
再現



認知症施策【オレンジハート】

認知症の人からの私たちへのメッセージ

このセミナーで出会い、私たちに送ってくださった認知症の人からのメッセージを綴っています。



まとめ

目指す目標は一緒

認知症の人も、市町村も、県も、国も、みんな目指す目標は一緒！
どこの場でも、お互いの長所を活かして、交わって、地域特性に応じた自分たちのふるさとを創ろう！

プラスの循環を発見

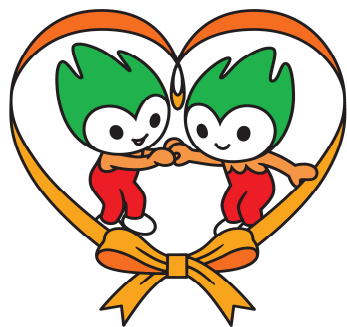
認知症の人に教えを受けたら、力までもらった。市町に認知症の人の力(言葉)を紹介したら、セミナー参加者が元気になった。その場を共有した認知症の人も元気になった。

情報提供・共有の重要性を再確認

認知症施策は、まだまだ進化中。
だからこそ、広域的な視点での情報提供や共有が大切！
市町村や県にしかできない大切なこと……

御静聴 ありがとうございます。

山口県PR本部長「ちよるる」 認知症施策



【支え合いリボン】



【オレンジハート】



【リボン&ハート】